

赤松啓介 あしかげけいけい 民俗學・考古學者。明治四十一年二月四日兵庫縣生
 乳（一九〇九一）。本名栗山一夫。筆名上月三郎、久保田榮一、佐伯則夫、
 内海繁、吉岡榮二、吉川辰次郎、小山弘健、尾崎辰之助、山崎隆三、
 山田裕一、岸本茂雄、手島正毅、明石國男、有馬哲雄、米永隆甫、松
 木鶴胤、稻岡實雄、豊地清治、金鐘鳴、筑後生、長谷川一郎、阿原富
 士雄、飯盛大十郎、A.K. A.K.K. K.K. A.K.等。關西學院大學中退。
 日本民主主義科學者協會神戸支部事務局長、同歴史部會會員、日本農
 民組合兵庫縣連合會常任委員、兵庫縣郷土研究會常任委員等歴任。
 著書『民俗學』（昭和十一年五月十五日二宮書房「二宮全書」）、『東
 洋古代民族史』（昭和十四年五月十日白揚社）、『天皇制起源神話の
 研究』（昭和二十二年九月五日美知書林）、『心が心の自叙伝』
 （赤松啓介著作集刊行会編、昭和五十六年二月一日大阪・赤松啓介著
 作集刊行会「赤松啓介著作集」）、『危機における科学と文化』（昭
 和五十七年十月兵庫県郷土研究会「赤松啓介著作集」）、『非國民の
 民俗境界―村落社会の民俗と差別』（第4刷・平成二年九月二十日明
 石書店）等。

